

学位論文（修士・博士）審査における評価基準について

大阪大谷大学大学院文学研究科では、修士論文および博士論文について、以下の基準により総合的に評価する。  
なお、審査体制、審査の方法については、大阪大谷大学学位規程に準ずる。

**【修士学位論文の評価基準】**

- 1 研究課題設定の的確性  
自己の問題意識に基づき、研究課題が的確に設定されているか。
- 2 先行研究についての評価の適切性  
研究課題に関わる先行研究を十分に把握し、研究史上の論点の所在を適切に認識しているか。
- 3 研究方法の妥当性  
研究課題に相応しい研究方法が採用されているか。
- 4 資料分析の適切性  
研究課題の解決に不可欠な資料が適切に引用もしくは紹介されており、なおかつ、資料分析が適切になされているか。
- 5 論旨の一貫性  
研究課題から結論に至るまで、論旨が整合的で一貫しているか。
- 6 論述の明晰性および論理性  
自己の見解を明晰的かつ論理的に記述できているか。
- 7 論文としての体裁の適切性  
章立て・文献引用・註・図版等からみて、学術論文としての体裁が整っているか。
- 8 研究成果の独創性および社会性  
研究成果に一定の学術的独創性および社会的重要性が認められるか。

**【博士学位論文の評価基準】**

- 1 研究課題設定の的確性  
自己の問題意識に基づき、研究課題が的確に設定されているか。
- 2 先行研究についての評価の適切性  
研究課題に関わる先行研究を十分に把握し、研究史上の論点の所在を適切に認識しているか。
- 3 研究方法の妥当性  
研究課題に相応しい研究方法が採用されているか。
- 4 資料分析の適切性  
研究課題の解決に不可欠な資料が適切に引用もしくは紹介されており、なおかつ、資料分析が適切になされているか。
- 5 論旨の一貫性  
研究課題から結論に至るまで、論旨が整合的で一貫しているか。
- 6 論述の明晰性および論理性  
自己の見解を明晰的かつ論理的に記述できているか。
- 7 論文としての体裁の適切性  
章立て・文献引用・註・図版等からみて、学術論文としての体裁が整っているか。
- 8 研究成果の独創性および社会性  
研究成果に学術的独創性および社会的重要性が認められるか。